

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2015年1月14日

【四半期会計期間】 第11期第3四半期（自 2014年9月1日 至 2014年11月30日）

【会社名】 株式会社レナウン

【英訳名】 RENOWN INCORPORATED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北畑 稔

【本店の所在の場所】 東京都江東区有明三丁目6番11号TFTビル東館6階

【電話番号】 03-4521-8136

【事務連絡者氏名】 管理統括部経理部長 長谷川 眞澄

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区有明三丁目6番11号TFTビル東館6階

【電話番号】 03-4521-8136

【事務連絡者氏名】 管理統括部経理部長 長谷川 眞澄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第10期 第3四半期 連結累計期間	第11期 第3四半期 連結累計期間	第10期
会計期間		自 2013年3月1日 至 2013年11月30日	自 2014年3月1日 至 2014年11月30日	自 2013年3月1日 至 2014年2月28日
売上高	(百万円)	54,124	51,634	75,863
経常利益	(百万円)	809	926	261
四半期純利益又は当期純損失()	(百万円)	462	253	164
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	276	1,154	402
純資産額	(百万円)	22,910	26,270	25,116
総資産額	(百万円)	42,865	45,644	41,386
1株当たり四半期純利益金額又は 当期純損失金額()	(円)	5.72	2.51	1.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	53.3	57.5	60.7

回次		第10期 第3四半期 連結会計期間	第11期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2013年9月1日 至 2013年11月30日	自 2014年9月1日 至 2014年11月30日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	31.97	19.90

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり当期純損失が計上されている回次は記載しておりません。また、第10期第3四半期連結累計期間及び第11期第3四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(衣服等繊維製品関連事業)

当第3四半期連結会計期間において、(株)ジブ・リテイリングを新たに設立し、連結子会社としております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間(2014年3月1日から2014年11月30日まで)におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果等から企業収益に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にあります。一方、円安による輸入原材料費の上昇や消費税に伴う個人消費の低迷の長期化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは前期策定の「中期経営方針」に基づき、小売ビジネスの拡大、Eコマースの積極展開を重点施策に掲げ取り組んで参りました。

当第3四半期連結累計期間につきましては、ショッピングセンターおよびGMS向け販売は堅調に推移したものの、消費税の影響に加え、諸物価の値上がりによる生活防衛意識の高まりなどにより、主力販路である百貨店における販売が苦戦いたしました。また、前期に実施いたしました連結子会社の株式会社アニヤ・ハインドマーチジャパンの株式売却に伴い、同社が連結対象から外れたことにより、売上高は前年同四半期に比べ減少いたしました。

一方、前期実施の本社移転及び前述子会社が連結対象から外れたことにより、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益並びに経常利益は増加いたしました。しかし、特別損失として投資有価証券評価損を計上したことにより、四半期純利益は減少いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は516億3千4百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業利益は6億6千5百万円(前年同四半期比53.3%増)、経常利益は9億2千6百万円(前年同四半期比14.4%増)、四半期純利益は2億5千3百万円(前年同四半期比45.1%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて42億5千8百万円増加し、456億4千4百万円となりました。これは、商品及び製品の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて31億4百万円増加し、193億7千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて11億5千3百万円増加し、262億7千万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金及び繰延ヘッジ損益の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	320,000,000
計	320,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2014年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (2015年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	101,307,449	101,307,449	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	101,307,449	101,307,449		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2014年11月30日		101,307,449		18,471		7,217

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2014年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2014年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 164,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 100,666,300	1,006,663	
単元未満株式	普通株式 476,349		
発行済株式総数	101,307,449		
総株主の議決権		1,006,663	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が40株含まれております。
- 3 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己保有株式が次のとおり含まれております。
- 自己保有株式 株式会社レナウン 87株

【自己株式等】

2014年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社レナウン	東京都江東区有明三丁目 6番11号TFTビル東館6階	164,800		164,800	0.16
計		164,800		164,800	0.16

- (注) 1 このほか、株主名簿上は旧株式会社レナウン名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が第2四半期末現在100株あります。
- なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。
- 2 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2014年9月1日から2014年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2014年3月1日から2014年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,223	11,874
受取手形及び売掛金	9,119	11,738
有価証券	130	97
商品及び製品	6,650	11,052
仕掛品	635	378
原材料及び貯蔵品	619	550
その他	2,364	2,325
貸倒引当金	119	99
流動資産合計	33,623	37,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,598	7,729
減価償却累計額	6,604	6,737
建物及び構築物(純額)	993	992
機械装置及び運搬具	1,325	1,357
減価償却累計額	1,057	1,105
機械装置及び運搬具(純額)	268	251
土地	1,114	1,101
その他	2,800	2,883
減価償却累計額	2,251	2,318
その他(純額)	549	564
有形固定資産合計	2,926	2,910
無形固定資産		
その他	843	935
無形固定資産合計	843	935
投資その他の資産		
投資有価証券	760	752
差入保証金	2,652	2,540
繰延税金資産	17	17
その他	638	640
貸倒引当金	76	69
投資その他の資産合計	3,992	3,881
固定資産合計	7,762	7,727
資産合計	41,386	45,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,070	1 8,155
短期借入金	85	74
未払費用	2,788	3,284
未払法人税等	260	210
繰延税金負債	8	254
返品調整引当金	596	316
賞与引当金	92	243
その他	360	574
流動負債合計	10,261	13,112
固定負債		
繰延税金負債	4	7
退職給付引当金	5,136	5,251
役員退職慰労引当金	22	20
その他	844	981
固定負債合計	6,007	6,261
負債合計	16,269	19,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,471	18,471
資本剰余金	23,257	23,257
利益剰余金	16,359	16,105
自己株式	126	126
株主資本合計	25,242	25,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	479	2
繰延ヘッジ損益	12	414
為替換算調整勘定	329	344
その他の包括利益累計額合計	137	761
少数株主持分	11	13
純資産合計	25,116	26,270
負債純資産合計	41,386	45,644

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自2013年3月1日 至2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2014年3月1日 至2014年11月30日)
売上高	54,124	51,634
売上原価	28,868	27,496
売上総利益	25,256	24,138
販売費及び一般管理費	24,822	23,473
営業利益	434	665
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	63	34
受取地代家賃	244	245
持分法による投資利益	9	-
その他	229	149
営業外収益合計	565	442
営業外費用		
支払利息	3	6
退職給付費用	100	100
持分法による投資損失	-	5
その他	84	68
営業外費用合計	189	181
経常利益	809	926
特別損失		
減損損失	15	3
投資有価証券評価損	-	492
移転費用	109	-
その他	27	-
特別損失合計	151	495
税金等調整前四半期純利益	658	430
法人税、住民税及び事業税	161	173
法人税等調整額	0	1
法人税等合計	161	174
少数株主損益調整前四半期純利益	496	255
少数株主利益	34	1
四半期純利益	462	253

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	481
繰延ヘッジ損益	94	401
為替換算調整勘定	127	7
持分法適用会社に対する持分相当額	28	7
その他の包括利益合計	220	898
四半期包括利益	276	1,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	1,152
少数株主に係る四半期包括利益	34	1

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間より、㈱ジブ・リテイリングを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年11月30日)
受取手形	百万円	19百万円
支払手形	百万円	65百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
減価償却費	533百万円	537百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円72銭	2円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	462	253
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	462	253
普通株式の期中平均株式数(株)	80,789,762	101,143,275

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2015年1月14日

株式会社レナウン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐藤	晶
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	安永	千尋

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社レナウンの2014年3月1日から2015年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2014年9月1日から2014年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2014年3月1日から2014年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社レナウン及び連結子会社の2014年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。